



KanadeCoin

奏コイン

Whitepaper
Version 1.0.0

【目次】

1. 個人によるモノづくり」の課題
2. KanadeCoin が提供するもの
 - 2-1. モノづくりを応援するコミュニティ
 - 2-2. スマートコントラクト機能
 - 2-3. KanadeCoin SDK
3. ロードマップ
4. 運営チーム
5. トークン配分
6. トークン概要

※このホワイトペーパーは 2018 年 7 月 2 日時点の内容です。

今後、記載の内容から計画が変更になる可能性があります。

1.「個人によるモノづくり」の課題

今日のマーケットでは、企業に限らずアプリケーションやウェブサービス、ウェブサイトを開発したり、オリジナルの製品やイラストなどを創作したりする個人クリエイターが多数存在します。

しかしながら、個人クリエイターが創作した「モノ」は、企業が生産したものと比較すると、商業的にあまりにも小規模であり、認知度が思うように向上しないといったことが往々にしてあります。従って、自身のサポーターやサービスの利用者がほとんど存在しなかったり、資金繰りなどの理由から早期に創作活動を断念せざるを得ないことになったりするケースが散見されるのが現状です。

こういった問題は、営業やマーケティングといった「モノづくりを世の中に広める活動」までなかなかクリエイターの手が回らないことに起因しています。あるいは、多くの個人クリエイターがそういった能力を有していないこと、また企業のようにそれらの広報活動に割ける資金や人的リソースが不足していることに端を発していると結論付けることができます。

一方で、*Pixiv* や *ニコニコ動画*、*Youtube*、*SoundCloud* をはじめとした動画やイラスト、アプリケーションなど個人クリエイターが自らの作品やサービスを公開・共有できるプラットフォームや、*Kickstarter* といったクラウドファンディング等の資金調達・プロモーションを行えるサービスも徐々に一般化しており、個人によるモノづくりの敷居は少しずつ下がってきているのも事実です。

※上記サービス名称は各社の商標または登録商標です。

しかしながら、創作物を共有するプラットフォームが大衆化したとはいえ、やはりそこでは著名なクリエイターの創作物のみがある意味過大評価され、そして世間に広まるといった状態に留まるケースが多いのもまた現実です。これでは、駆け出しのクリエイターにとって、作品評価の観点からモノづくりの敷居は高いままであると言わざるを得ません。他人に作品が評価されず、資金や時間を消費してしまうだけの状態が継続すれば、創作のモチベーションを保持することが苦難となるのは想像に難くありません。

このように、個人クリエイターがモノづくりを継続し、それでもって生活資金を得る規模まで創作活動を拡大させていくことは依然として厳しく、まだまだ一般的な選択肢とは言えないでしょう。更に特筆すべき点として、「個人クリエイターは収入が安定しない」という世間の固定的な印象もあり、モノづくりを生業にすることで自己表現をする道を断念する人も少なくないというのが現状です。

2. KanadeCoin が提供するもの

KanadeCoin は Ethereum ブロックチェーンに基づくスマートコントラクト技術と、モノづくりを応援し助け合うコミュニティを形成することにより上述した諸々の問題を解決します。換言すれば、KanadeCoin は個人クリエイターがよりモノづくりに取り組みやすく、収入も得やすい環境を構築し、「やりたいことを仕事にできる」社会作りに貢献していきます。

プロジェクトの一環として、KanadeCoin は KNDC トークン決済やスマートコントラクト機能を自身のアプリケーションやサービスに簡単に組み込める SDK

を提供します。加えて、KanadeCoin は世界中のトークン保有者の下、モノづくりを行うクリエイターやそれをサポートする企業・団体、プロフェッショナルが集まり、相互にモノづくりを応援し発展し合うコミュニティをクリエイターやモノづくり支援を行う企業に架橋します。

2-1. モノづくりを応援するコミュニティ

KanadeCoin には、アジア圏を中心に約 4 万人のトークンホルダーが存在します(2018/6 時点)。このトークンホルダーを主軸として、有機的なオンラインコミュニティを形成するのが KanadeCoin プロジェクトにおけるひとつのミッションです。

同コミュニティは、創作物を共有することによる新規ファンの開拓や、作品に対するフィードバックの獲得をはじめ、クリエイターに対する投げ銭に代表される支援制度、更には事業パートナーとのマッチングや、アドバイスやコンサルティングの享受など、様々なサポート体制が整った環境として構築されていきます。

具体的には、トークンホルダーに代表されるユーザーが相互にコミュニケーションを図れる媒体として、KanadeCoin コミュニティは Discord と Telegram において開放されています。特に「モノづくりを応援するコミュニティ」機能は Discord コミュニティに現状集約されています。

KanadeCoin 公式 Discord サーバーにおいては、日常の運営報告やユーザー同士のコミュニケーションを促すチャンネルに加え、エンジニアや職人・動画配信者・音楽製作者・イラストレーターをはじめとする多様な個人クリエイターによる自身の創作物のアップロードや創作に係るコミュニケーションが可能なチャンネルを整備しており、ユーザー同士の自発的なインタラクションが確立されています。

加えて、Discord コミュニティ内において、個人クリエイターの創作活動を促進するため、自身が創作したサービスや創作物をリリースし、コミュニティユーザーに共有したクリエイターに対し KNDC トークンを報酬として付与するなどのバウンティ制度も導入しています。

トークンを受理したユーザーは同コミュニティ内の他クリエイターに対し投げ銭を行うことが可能となり、モノづくりに対する相互的な金銭支援が循環するエコシステムが構築されます。更に Discord コミュニティを活発化しモノづくり支援を強化するための施策として、KanadeCoin 運営チームはクリエイター支援業務を行う企業と提携することで、企業のコミュニティ参画を促し独自サービスの提供を仰ぎます。従って、個人クリエイターは提携先企業から個別にアドバイスを受けたり、また KNDC トークンあるいは法定通貨を用いて簡単に業務を発注したりすることも可能となります。

個人クリエイターの多くは、創作活動を行うことはできても、日常的に営業やマーケティング活動を行うことができず、自身の作品やサービスが認知されないまま埋もれてしまうといった経験を少なからず共通して有しています。KanadeCoin コミュニティはその課題を解決すべく、たとえば営業チームや広告代理店、ライターといった多様な人材の輪を築くことで、双方を商業的に架橋します。

また、フリーランスとして独立し生計を立てている個人クリエイターや、企業として創作活動を行っている人々に対しては、税務や法務、事務作業といったバックオフィスの問題も少なからず付随します。そうしたモノづくりに関連する背景的・潜在的な課題やボトルネックを解決するのが KanadeCoin コミュニティの正に標榜するところです。

2-2. スマートコントラクト

KanadeCoin は Ethereum で生成された ERC20 トークンです。ブロックチェーンを用いたセキュアで高速な決済・送金などの機能を実行することができます。KanadeCoin は以下のようなスマートコントラクト機能を備えており、主にスマホアプリの開発者や Web サイトの運営者など、サービスを提供するユーザーに新たな開発の可能性を提供します。

投票機能: スマートコントラクトを用いたセキュアな投票機能をアプリケーション内に導入することが可能です。調査や意思決定、イベント等に活用することができます。

データ保存: ブロックチェーン上に指定した文字列を保存します。この文字列は誰でも参照できます。

ランダムボックス: ランダム値を生成・取得することができます。この機能を用いて、例えばおみくじやガチャといったシステムを開発することが容易になります。

配布(rain): 複数のアドレスに対して同時に KNDC トークンを送付することができます。これはイベントなどで多数のユーザーに報酬を配布する際などに活用できます。

2-3. KanadeCoin SDK

Web サービスやアプリケーションの開発者は、誰でも簡単に KanadeCoin を自身のサービスに組み込むことができ、決済機能や上記のスマートコントラクト機能を活用することができます。これにより、サービスやアプリケーションの利便性を向上し、かつ KanadeCoin コミュニティ内のユーザーにアピールできるメリットが生じます。

3.ロードマップ

2018.04.07	KanadeCoin 始動
2018.04.07	AirDrop#1 受付開始
2018.04 上旬	Discord 開設
2018.04 中旬	ロゴコンペ開始
2018.04.29～	AirDrop#1 配布(約 40 億枚)
2018.05 中旬	KanadeCoin SDK 開発開始
2018.05 中旬	ロゴ決定
2018.05.13	AirDrop#2 受付開始
2018.05.31～	AirDrop#2 配布(約 15 億枚) ※不正等により配布されなかった残りの トークンはバウンティウォレットに移動
2018.06.12	法人化(合同会社むすびて 設立)
2018.07.02	取引所上場(CoinExchange.io)
2018.09 頃	KanadeCoin SDK ベータ版公開
2018.09 頃	スマホアプリまたは Web サービスに KanadeCoin 採用
2018.09～10	取引所上場(2 箇所目)
2019.02 頃	KanadeCoin SDK 正式版公開
2019.2Q 以降	KanadeCoin を採用したアプリケーションの開発
2019.2Q 以降	複数スマホアプリまたは Web サービスに KanadeCoin 採用

4. 運営チーム



@すずき (鈴木 教平)

合同会社むすびて 代表社員/CEO・CMO



@monolitht

KanadeCoin 開発者/CTO

AND

Team of Advisors, Community Managers, Promotion and PR professionals



【合同会社むすびて 会社概要】

会社名： 合同会社むすびて (MUSUBITE LLC)

所在地： 東京都豊島区東池袋1丁目34番5号 いちご東池袋ビル6階

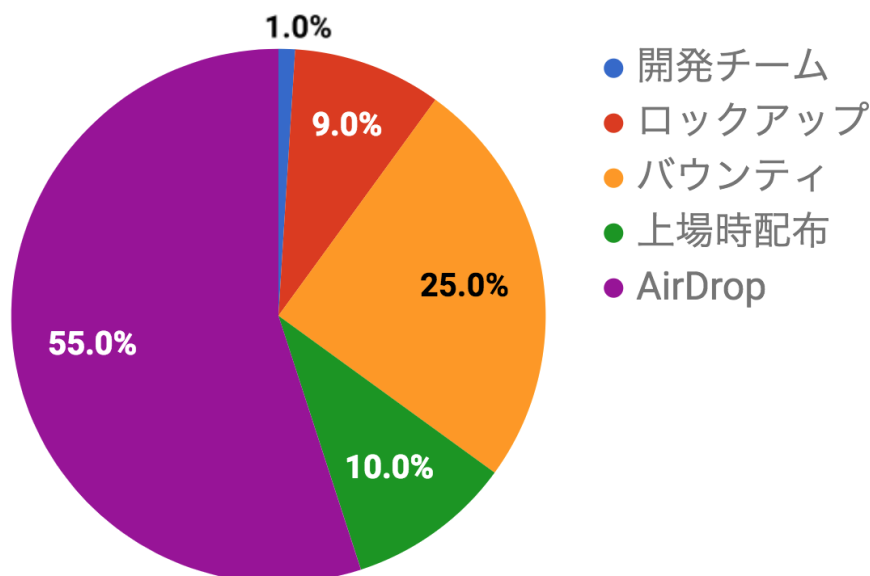
代表者： 代表社員 鈴木教平

設立日： 2018年6月12日

資本金： 3,000,000円

事業内容： 独自暗号通貨トークン KanadeCoin の運営、モノづくりを応援するコミュニティの形成・運営、モノづくりに関する支援・コンサルティング事業

5.トークン配分



≫ 開発チーム (1%)

開発チームの報酬として使用します。

≫ ロックアップ (9%)

開発チームの報酬として使用します。ただし、通貨発行から3年間はスマートコントラクトによりロックアップが保証され、運営による投げ売りの可能性を潰します。

≫ バウンティ (25%)

開発チームを除く、プロジェクトへの貢献者への報酬として使用します。これは初期に全て使い切る性質のものではなく、長い目で徐々に活用されます。

≫ 上場時配布 (10%)

初上場時、取引所にて売り板に並べて配布します。

≫ AirDrop (55%)

KanadeCoinの大半はAirDropによって配布されます。KanadeCoinの価値を認めてくださる方、コミュニティへ参加してくださる方を増やし、通貨そのものの価値と流通を最大化します。

なお、不正登録の排除等により配布されなかった残りのトークンはバウンティウォレットへと移行され、将来のKanadeCoinの発展のために使用されます。

6. トークン概要

通貨名	KanadeCoin(奏コイン)
シンボル	KNDC
トークンベース	ERC20 トークン (Ethereum)
小数点以下桁数	8
発行枚数	100 億枚
開始時期	2018 年 4 月 7 日
コントラクトアドレス	0x8E5610ab5E39d26828167640EA29823fe1dD5843

2018.06 Ver 1.0.0

このホワイトペーパーは2018年7月2日時点の内容です。今後、記載の内容から計画が変更になる可能性があります。また、記載されている内容の一切は履行を約束するものではありません。

また、このホワイトペーパーは情報提供のみを目的としており、仮想通貨や証券その他の資産の売買の勧誘や提案を行うものではありません。

記載の内容に基づきユーザーが行った一切の行為について、合同会社むすびて及びKanadeCoin運営チームは一切の責任を負いません。